

# 会津の三浦佐原氏

参加費無料

講師: <sup>すずき</sup>鈴木 かほる

2026年4月25日(土) 14:00~16:00

Zoomにて開催 (ルームオープン 13:30)

桓武平氏三浦氏の流れが会津葦名氏である。三浦氏研究は、最高水準にあると評されているが、陸奥国会津における三浦葦名氏は未開拓のままである。

三浦氏の会津支配は、三浦大介義明が源頼朝より奥州合戦の功により陸奥国会津郡を賜ったことにある。現在地が不明であった会津葦名氏の相伝私領・陸奥国会津「上野新田」を比定し、その活動拠点を確定できた。

会津の願成寺が三浦佐原氏の外護を受け、会津地方における浄土宗信仰の一つの拠点的地域を形成していった事実は、隆寛処罰の一件と共に、宝治の乱以前から、加納庄は盛時の所領であったことへの傍証となる。葦名氏は会津に本拠を移しても尚、相模国三浦郡を知行し、会津守護として会津郡や越後、信濃、周防、下総などの国々を領し、確固たる地歩を固めていたことは明らかである。



叶山 三寶院 願成寺 (福島県喜多方市) 写真AC



佐原氏の家紋「丸の内三つ引」

■鈴木 かほる (すずき かほる) 日本海事史学会会員

国学院大学文学部史学科卒。叙勲。

著書「三浦按針は英国通商成立までの十三年間、何をしていたのか」。

「幻の鎌倉執権三浦氏一関白九条道家凋落の裏側一」。

「史料が語る向井水軍とその周辺」。

「徳川家康のスペイン外交一向井将監と三浦按針一」他。

●関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。

メールでお申し込みください。

※希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。

お申込みいただいた方には4月22日(水)までにご連絡いたします。

●会員にはメールでご案内をお送りしています。

メールが届いていない方は、右の申込先までお問合せください。

■申込〆切: 2026年4月21日(火) 正午(12:00)

■申込先: [kaijishi.web@gmail.com](mailto:kaijishi.web@gmail.com) (担当: 大野)

メールの件名を「日本海事史学会 Web 例会申し込み(非会員)」として、本文にはお名前をお書きください。

[今後の例会 開催予定日: 5月23日(土) Web / 総会@駒場 6月27日(土)]

日本海事史学会は、海事一般に関する歴史・法律・民俗・水産・考古・船舶・航海・海運など、海事史だけにとどまらずひろく海の人文、社会科学等あらゆる分野に関心を持つ学界や在野の研究者の方々の交流をはかる総合研究の“場”です。

【主な活動】専門学術誌『海事史研究』の発行(年1回) / 総会(年1回)・例会(8月と総会開催月を除く年10回) など

